

# ***MVC-MA7-SMAF***

## **ユーザーズマニュアル**

Ver.1.1.0

2006/2/17

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。  
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。  
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2005-2006 YAMAHA CORPORATION

All rights reserved

## <はじめに>

この書は、携帯端末用コンテンツである **SMAF/MA-2** のチャンネル毎の音量(**Channel Volume**)、及び **SMAF/MA-3**、**SMAF/MA-5** の全体音量(**MasterVolume**)、**SMAF/MA-7** の全体音量(**MasterVolume**)、**MaxGain** を調整するためのアプリケーション・ソフトウェア (**MasterVolume Converter for SMAF/MA-7** 以下 **MVC-MA7-SMAF**)を対象とします。

## &lt;更新履歴&gt;

Ver.	Date	内容
1.0.0	2005/12/19	新規作成
1.1.0	2006/2/17	4.1.6 Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックス追加 5 初期設定ファイルの設定に REGULATE_CHORUS=の記述を追加 6 操作手順 に Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックスを追加 7 処理結果表示 <図 7-1>、<図 7-2>変更 MVC-MA7_result.txt<表-7>の表記に Effect ボリューム変更に関する記述を追加

## <目次>

1	MVC-MA7-SMAF .....	5
1.1	概要 .....	5
1.2	対象フォーマット .....	5
1.2.1	入力フォーマット .....	5
1.2.2	出力フォーマット .....	5
1.3	推奨動作環境 .....	5
2	インストール .....	6
3	アプリケーションの起動と終了 .....	6
3.1	起動 .....	6
3.2	終了 .....	6
3.2.1	Close ボタンによる終了 .....	6
3.2.2	タイトルバーメニュー[閉じる]による終了 .....	6
3.2.3	[閉じる]ボタンによる終了 .....	6
3.2.4	その他の終了方法 .....	6
4	ウィンドウ .....	7
4.1	メインダイアログ .....	7
4.1.1	タイトルバー .....	7
4.1.2	閉じるボタン .....	8
4.1.3	Close/Stop ボタン .....	8
4.1.4	ウィンドウ表示内容 .....	9
4.1.5	Output result to file チェックボックス .....	10
4.1.6	Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックス .....	10
4.1.7	ファイル数表示 .....	11
4.1.8	プログレスバー .....	11
4.1.9	ボリュームの設定について .....	12
4.2	上書き確認ダイアログ .....	14
5	初期設定ファイルの設定 .....	15
6	操作手順 .....	17
7	処理結果表示 .....	21
8	エラーメッセージ一覧 .....	24
8.1	ファイル処理のエラー .....	24
8.2	Detail メッセージ .....	24
8.2.1	OK の場合 .....	24
8.2.2	NG の場合 .....	24
8.3	メッセージボックス .....	25
8.3.1	エラーメッセージ .....	25
8.3.2	確認メッセージ .....	26

# 1 MVC-MA7-SMAF

## 1.1 概要

MVC-MA7 は携帯端末用の SMAF (Synthetic Music Mobile Application Format) の音量を調整するための Windows®2000、Windows®XP 上で動作するアプリケーション・ソフトウェアです。

SMAF/MA-2 の場合は、チャンネル毎の音量(ChannelVolume)を、SMAF/MA-3、SMAF/MA-5 の場合は、全体音量 (MasterVolume) を

SMAF/MA-7 の場合は、全体音量 (MasterVolume)、MaxGain を調整します。  
調整方法には増減値(dB)での調整と、絶対値での調整の 2 種類あります。

## 1.2 対象フォーマット

### 1.2.1 入力フォーマット

#### 1.2.1.1 SMAF

MVC-MA7 は、SMAF/MA-2,SMAF/MA-3,SMAF/MA-5, SMAF/MA-7 のフォーマットに対応しています。

### 1.2.2 出力フォーマット

#### 1.2.2.1 SMAF

入力ファイルに対して以下の変更を行います。

- ・ 音量を変更
- ・ A0 タグの ATSig 変更

## 1.3 推奨動作環境

本アプリケーションは、以下に準じた動作環境が必要です。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000
CPU/クロック	Pentium®, Celeron™、または互換プロセッサ/ 266MHz 以上
メモリー	64MB 以上
必要なハード ディスク 空き 容量	40MB 以上 この他に、入力する全ファイルの合計サイズ程度の空きを必要 とします。

本マニュアルで使用されているすべての製品名は、各社の商標および登録商標です。

## 2 インストール

MVC-MA7-SMAF は、以下の 2 つのファイルで構成されています。

- ・ MVC-MA7.exe (MVC-MA7 実行ファイル)
- ・ MVC-MA7.ini (MVC-MA7 初期設定ファイル)

上記のファイルを任意のディレクトリに置いてください。

## 3 アプリケーションの起動と終了

### 3.1 起動

「MVC-MA7.exe」を直接ダブルクリックしてください。

### 3.2 終了

#### 3.2.1 Close ボタンによる終了

ダイアログの Close ボタンを押すと終了します。

#### 3.2.2 タイトルバーメニュー[閉じる]による終了

タイトルバーメニューにある「閉じる (Alt+F4)」を選択すると終了します。

#### 3.2.3 [閉じる]ボタンによる終了

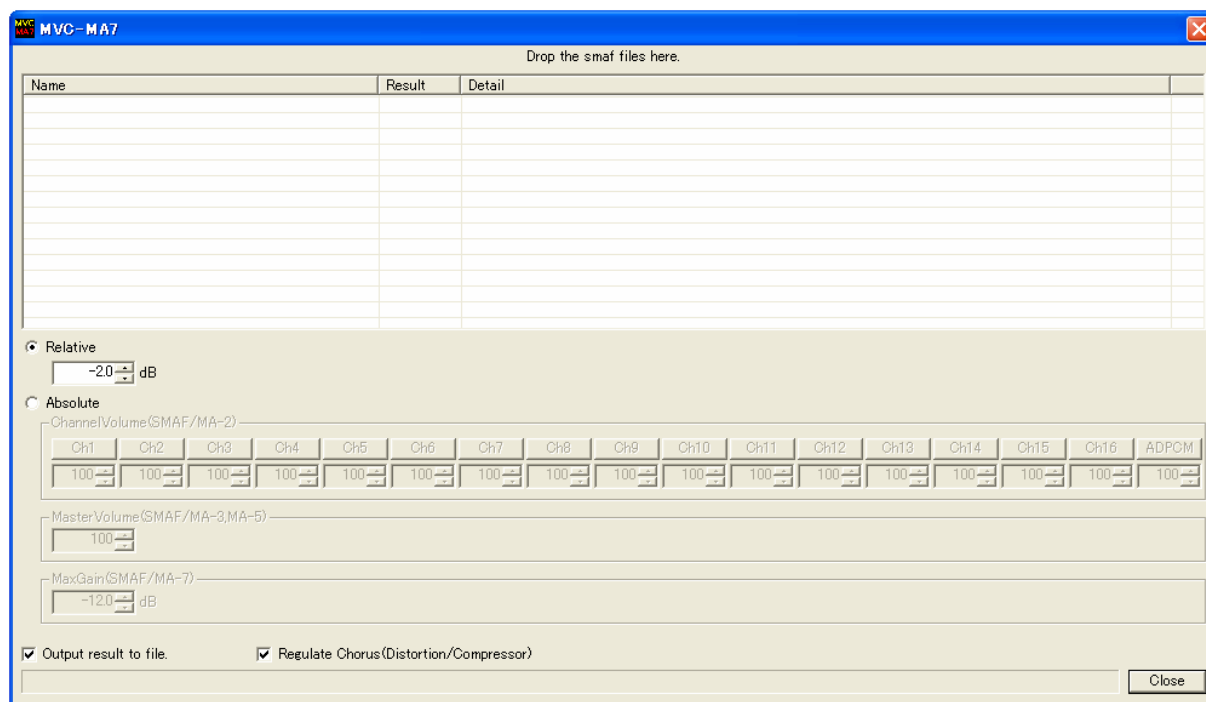
タイトルバー右隅の[閉じる]ボタン(☒)を押すと終了します。

#### 3.2.4 その他の終了方法

メインウィンドウがアクティブになっている時であれば[Alt]+[F4] ([Alt]を押しながら[F4]を押す)を押します。

## 4 ウィンドウ

### 4.1 メインダイアログ



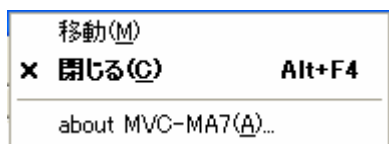
<図 4-1> メインダイアログ ←差し替え

#### 4.1.1 タイトルバー

タイトルバーではアプリケーション名の'MVC-MA7'のみ表示します。  
複数ファイルの一括処理にも対応するため、処理中のファイル名の表示は行いません。

##### 4.1.1.1 システムメニュー

タイトルバーの左隅にあるアイコンをクリック、またはタイトルバーの任意のところを右クリックしてもシステムメニューが表示されます。



<図 4-2>システムメニュー

##### 4.1.1.1.1 移動

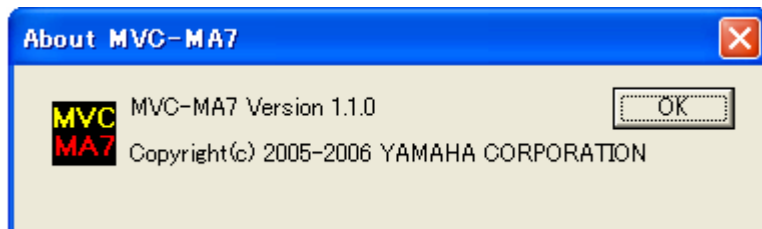
方向キー（↑→↓←）またはマウスを使ってダイアログの移動が可能です。

#### 4.1.1.1.2. 閉じる

クリックすると、現在のダイアログを閉じアプリケーションを終了します。  
[Alt]+[F4]も同様です。

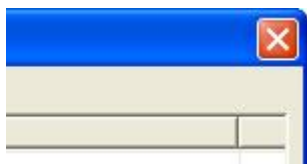
#### 4.1.1.1.3. about MVC-MA7

MVC-MA7 のバージョンを表示します。




<図 4-3 バージョンダイアログ

### 4.1.2 閉じるボタン



<図 4-4>閉じるボタン

閉じるボタン をクリックすると、現在のダイアログを閉じアプリケーションを終了します。  
[Alt]+[F4]も同様です。

### 4.1.3 Close/Stop ボタン



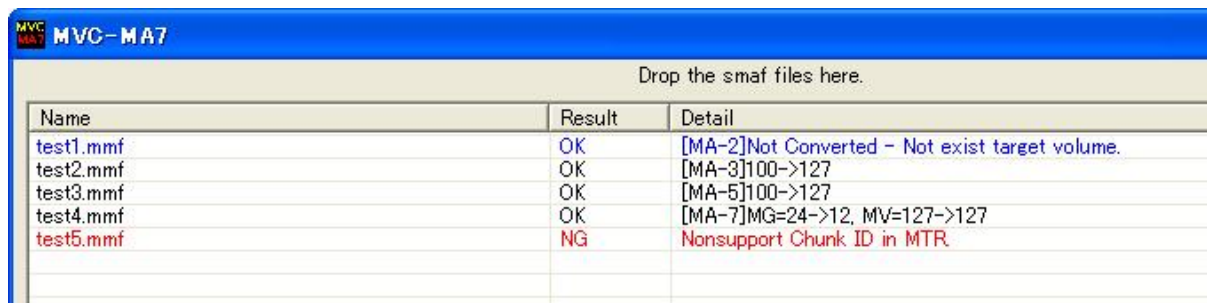
<図 4-5>Close/Stop ボタン

アプリケーション起動直後など変換対象ファイルが指定されるまでの待機中は **Close** を表示し、その操作によりアプリケーションを終了します。  
変換対象ファイルを指定し変換処理が始まるとその終了まで **Stop** を表示します。  
**Stop** 表示中のボタン操作により変換処理を中断し、待機状態の **Close** 表示に変わります。



## 4.1.4 ウィンドウ表示内容

ファイル処理毎の情報を表示します。



Drop the smaf files here.		
Name	Result	Detail
test1.mmf	OK	[MA-2]Not Converted - Not exist target volume.
test2.mmf	OK	[MA-3]100->127
test3.mmf	OK	[MA-5]100->127
test4.mmf	OK	[MA-7]MG=24->12, MV=127->127
test5.mmf	NG	Nonsupport Chunk ID in MTR.

<図 4-6> ウィンドウ表示内容

### <Name>

変換対象のファイル名を表示します。

### <Result>

処理した結果（OK/NG）を表示します。

### <Detail>

Result が OK の場合は、SMAF 種類、変換前と後のボリューム値を表示します。

またエラーの場合は、エラー内容を表示します。

エラー内容については、< 8 エラーメッセージ一覧 >をご参照ください。

表示内容	表示例	説明
SMAF 種類	[MA-2]	入力SMAFは SMAF/MA-2
	[MA-3]	入力SMAFは SMAF/MA-3
	[MA-5]	入力SMAFは SMAF/MA-5
	[MA-7]	入力SMAFは SMAF/MA-7
ボリュームを変換しませんでした	Not Converted - NotExistTargetVolume	Result はOKです。 文字色は青色で表示します。
エラー	Nonsupport Chunk ID in MTR	Result は NG です。 文字色は赤色で表示します。
ボリューム値変換情報	100->127	100 から 127 へ変換しました。
ボリューム値変換情報 元ボリューム値が無い場合 (SMAF/MA-2 の場合のみ)	Ch1=99	チャンネル1のチャンネルボリューム に 99 を挿入しました。

<表 4-1> Detail 表示内容

### [NOTE]

SMAF 内の同チャンネルに複数チャンネルボリュームが存在する場合(SMAF/MA-2)または、SMAF 内に複数マスターボリュームが存在する場合(SMAF/MA-3,MA-5,MA-7)は、ウィンドウには最初のボリューム値の変換情報のみ表示されます。

全てのボリューム値の変換情報を見たい場合は、処理結果ファイル < 7 処理結果表示 >をご参照ください。

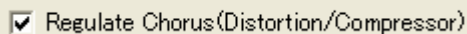
### 4.1.5 Output result to file チェックボックス

A screenshot of a software interface showing a checkbox labeled "Output result to file." which is currently checked with a black checkmark.

<図 4-7> Output result to file チェックボックス

Output result to file チェックボックスにチェックすると処理結果が「MVC-MA7\_result.txt」に出力されます。  
「MVC-MA7\_result.txt」ファイルについては、<7 処理結果表示 >を参照ください。

### 4.1.6 Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックス

A screenshot of a software interface showing a checkbox labeled "Regulate Chorus(Distortion/Compressor)" which is currently checked with a black checkmark.

<図 4-8> Regulate Chorus(Distortion/Compressor) チェックボックス

**Regulate Chorus** チェックボックスにチェックすることにより、**Effect** のボリューム調整を行います。

SMAF/MA-7 入力時に有効です。

**Effect** の種類によって全体音量を下げて追従して音量が下がらないものがあります。  
このオプションを **ON** にすることにより、全体音量に追従して下がるように調整します。

該当する **Effect** は、**Distortion**、**Overdrive**、**Amp Simulator**、**Compressor** です。  
これらの **Effect** を使用している時は、**ON** にすることをお勧めします。

## 4.1.7 ファイル数表示

Converted/OK/Total : 3/3/4

<図 4-9> ファイル数表示

処理中、処理結果をファイル数で表示します。

[処理中]                   Converting                   : XX/XXX

[処理結果]               Converted /OK/Total : XX/XX/XXX

### <Converted>

変換を行ったファイル数を表示します。

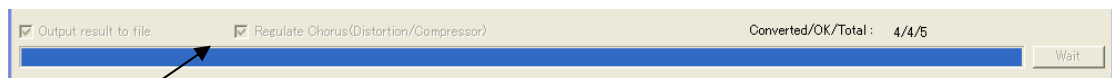
### <OK>

処理に成功したファイル数を表示します。

### <Total>

ドラッグ&ドロップによって指定された全ファイル数を表示します。

## 4.1.8 プログレスバー



プログレスバー

<図 4-10> プログレスバー ←図の差し替え

指定されたファイル数に対するエラーを含む処理の終了したファイル数の割合をグラフィカルに表示します。

### 4.1.9 ボリュームの設定について

MVC-MA7 では以下、2つのボリューム設定方法を選択できます。

設定方法	説明
相対増減値(dB)入力	<p>SMAF 内のボリュームに対して、何 dB 増減させるか、dB 値で入力します。</p> <p>SMAF/MA-2 の場合、全チャンネルボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。</p> <p>SMAF/.MA-3,MA-5 の場合は、全マスターボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。</p> <p>SMAF/MA-7 の場合は、MaxGain、全マスターボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。 まずは MaxGain を 0dB から -12dB の範囲で変更し、それからマスターボリュームを変更させます。</p>
絶対値入力	<p>SMAF 内のボリューム値を指定された数値に置き換えます。</p> <p>SMAF/MA-2 で、同チャンネルに複数個ボリュームがあった場合、全て指定された数値に置き換えます。</p> <p>SMAF/.MA-3,MA-5 の場合は、複数個マスターボリュームがあった場合、全て指定された数値に置き換えます。</p> <p>SMAF/.MA-7 の場合は、MaxGain を指定された数値に置き換えます。</p>

<表 4-2> ボリューム設定方法

[NOTE]

絶対値入力では、SMAF/MA-2 で同チャンネルに複数個チャンネルボリュームがあった場合、または SMAF/MA-3、MA-5 で複数個マスターボリュームがあった場合、それぞれ指定されたボリューム値で全て置き換えてしまうので、元の音量バランスを崩す恐れがあります。  
ご使用の際はご注意ください。

#### 4.1.9.1 ボリューム変換のしくみ（相対増減値(dB)入力の場合）

ボリューム増減値を dB 値で指定する場合は、ボリュームを dB 変換し、指定された値を増減したのち逆 dB 変換します。

[NOTE]

SMAF/MA-2 と SMAF/MA-3,MA-5,MA-7 では dB 変換と逆 dB 変換のテーブルが違うため、同じ dB 値で増減させても変換後のボリューム値が若干異なる場合があります。

### 4.1.9.2 チャンネルボリュームがない場合(SMAF/MA-2 の場合)

#### ■ 1 から 16 チャンネルの場合

最初のノートメッセージまでにチャンネルボリュームが無い場合、シーケンスデータの先頭にデュレーション 0 のチャンネルボリュームを挿入します。併せて **Seek & Phrase Info Chunk** 内の **Start Point** と **Stop Point** の位置をシフトします。

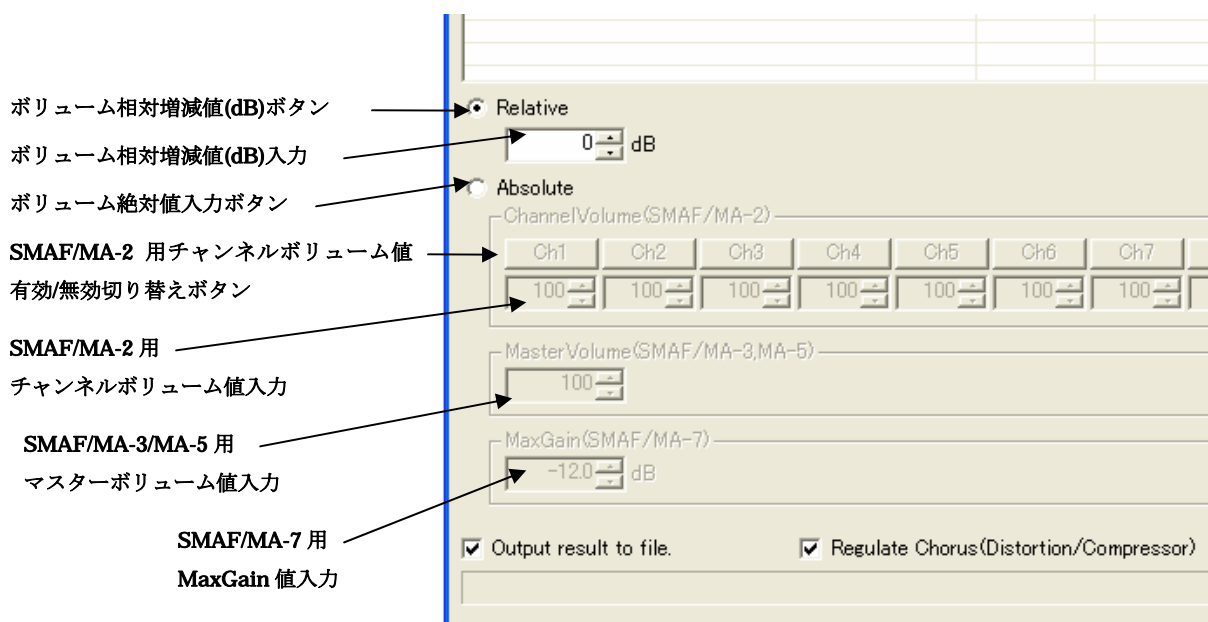
#### ■ ADPCM チャンネルの場合

最初のノートメッセージまでにチャンネルボリュームが無い場合、シーケンスデータの **Start Point** の位置にデュレーション 1 のチャンネルボリュームを挿入します。併せて **Seek & Phrase Info Chunk** 内の **Stop Point** の位置をシフトします。

[NOTE]

End of Sequence の位置がずれないように ATR チャンク内でデュレーションの調整をします。

### 4.1.9.3 ボリューム設定方法



<図 4-11> ボリュームの設定 ←図の差し替え

#### ■ ボリューム相対増減値(dB)入力ボタン (相対値設定)

ボリューム増減値(dB)入力を有効にします。

この時、絶対値入力は無効になります。

#### ・ ボリューム相対増減値(dB)入力

SMAF/MA-2/MA-3/MA-5/MA-7 の時に有効です。

元のボリュームに対して何 dB 変化させるか、dB 値で指定します。

指定可能範囲は、-60dB から 60dB までです。

### ■ ボリューム絶対値入力ボタン（絶対値設定）

ボリューム絶対値入力を有効にします。

この時、ボリューム増減値(dB)入力は無効になります。

- **SMAF/MA-2 用チャンネルボリューム値有効/無効切り替えボタン**

SMAF/MA-2 の時に有効です。

どのチャンネルのボリューム値を変更させるか指定します。

ボタンを押すことにより有効になります。

ツール立ち上げ時は、全て無効になっています。

- **SMAF/MA-2 用チャンネルボリューム値入力**

SMAF/MA-2 の時に有効です。

チャンネルボリューム値を直接入力します。

指定可能範囲は、0 から 127 までです。

- **SMAF/MA-3/MA-5 用マスターボリューム値入力**

SMAF/MA-3/MA-5 の時に有効です。

マスターボリューム値を直接入力します。

指定可能範囲は、0 から 127 までです。

- **SMAF/MA-7 用 MaxGain 値入力**

SMAF/MA-7 の時に有効です。

MaxGain 値を直接入力します。

指定可能範囲は、0[dB]から-12[dB]までです。

## 4.2 上書き確認ダイアログ

出力先に同名のファイルが存在した場合に表示されるダイアログです。

「はい(Y)」の選択によって以降の処理はすべて上書きモードで行われます。

「いいえ(N)」を選択するとそこで処理は終了します。



<図 4-12> 上書き確認ダイアログ

## 5 初期設定ファイルの設定

「MVC-MA7.exe」と同一フォルダ内にある「MVC-MA7.ini」が初期設定ファイルです。  
このファイルで、MVC-MA7 立ち上げ時の各パラメータの初期値を指定します。

```
[SETTING]
TARGET_FILE=0
DB_VALUE=0.0
MV_VALUE=100
MG_VALUE=-12.0
CV_VALUE1=100
CV_VALUE2=100
CV_VALUE3=100
CV_VALUE4=100
CV_VALUE5=100
CV_VALUE6=100
CV_VALUE7=100
CV_VALUE8=100
CV_VALUE9=100
CV_VALUE10=100
CV_VALUE11=100
CV_VALUE12=100
CV_VALUE13=100
CV_VALUE14=100
CV_VALUE15=100
CV_VALUE16=100
CV_VALUE_ADPCM=100
REGULATE_CHORUS=ON
```

<図 5-1>初期設定ファイル例

### 〈 TARGET\_FILE 〉

変更しないでください。

### 〈 DB\_VALUE … default dB value 〉

ボリュームを増減させる音量の初期値を設定します。

入力範囲は、-60.0[dB]から 60.0[dB]です。

入力値が範囲を越えている場合、上記の範囲内に自動調整されます。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0[dB]になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 dB に 0.0 を指定 DB\_VALUE = 0)

### 〈 MV\_VALUE … default MV value for SAMF/MA-3,MA-5 〉

絶対入力の場合の MasterVolume の初期値を設定します。

入力範囲は 0 から 127 です。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0 になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 MasterVolume 値に 0 を設定 MV\_VALUE = 0)

**〈 MG\_VALUE . . . default MaxGain value for SAMF/MA-7 〉**

絶対入力の場合の **MaxGain** 初期値を設定します。  
入力範囲は **0** から **-12** です。  
不正値が設定されている時や、何も入力していない時は **0** になります。  
また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

( 例 **MaxGain** 値に **-12** を設定 **MV\_VALUE = -12** )

**〈 CV\_VALUE\* . . . default CV value for SAMF/MA-2 〉**

絶対入力の場合の **ChannelVolume** の初期値を設定します。  
入力範囲は **0** から **127** です。  
入力値が範囲を越えている場合、上記の範囲内に自動調整されます。  
不正値が設定されている時や、何も入力していない時は **0** になります。  
また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

**CV\_VALUE 1** から **CV\_VALUE16**    **1** チャンネルから **16** チャンネルの指定を行う。  
**CV\_VALUE\_ADPCM**                      **ADPCM** チャンネルの指定を行う。

(例    **2** チャンネルの **ChannelVolume** 値に **0** を指定    **CV\_VALUE 2 =0** )

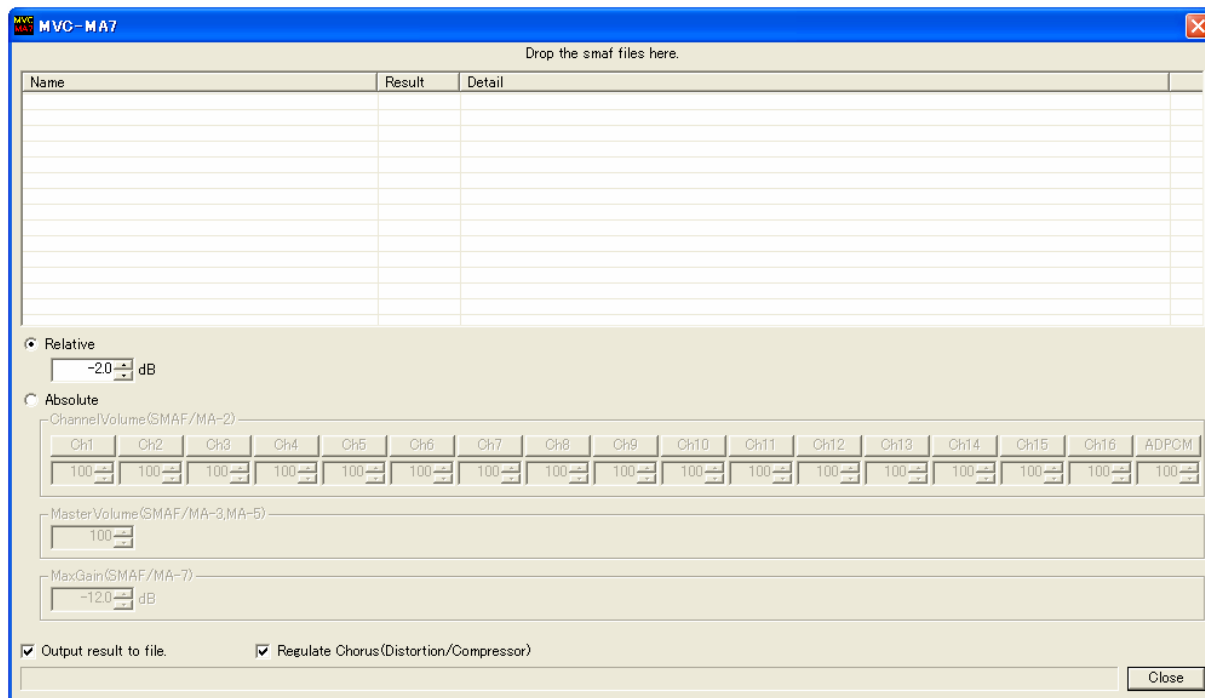
**〈 REGULATE\_CHORUS 〉**

**Regulate Chorus (Distortion/Compressor)** チェックボックスの設定値を  
**ON** または **OFF** で指定します。  
MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。



## 6 操作手順

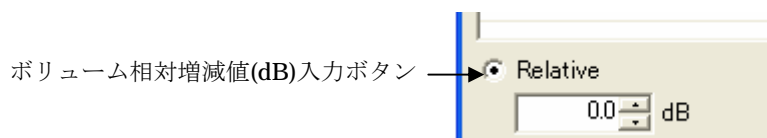
- 1) MVC-MA7 を起動します。



- 2) ボリューム設定方法を選択します。

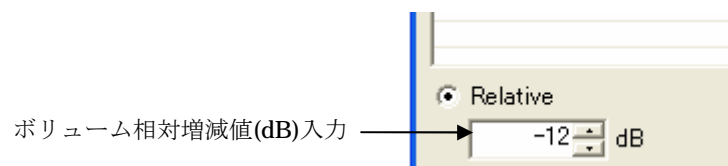
### ■相対増減値(dB)入力する場合

ボリューム増減値(dB)入力ボタンをクリックします。



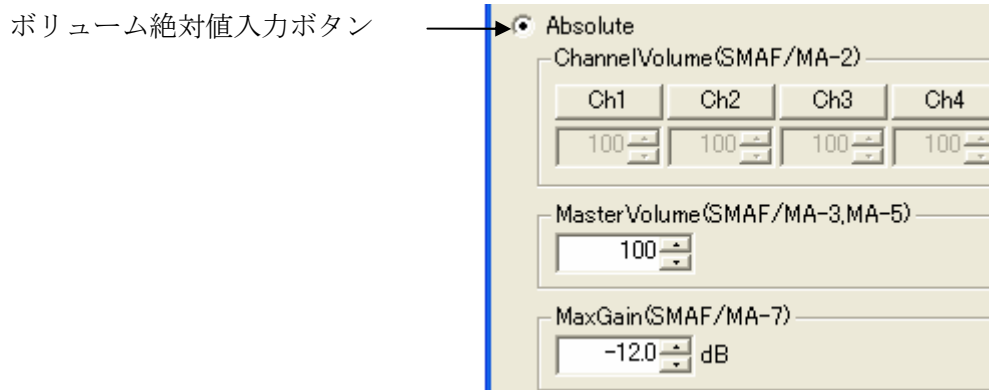
ボリューム相対増減値(dB)入力エディットボックスに値を設定します。

元のボリュームに対して-12dB 下げる場合



## ■絶対値入力する場合

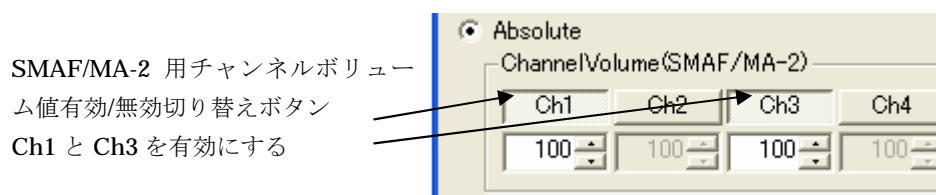
ボリューム絶対値入力ボタンをクリックします。



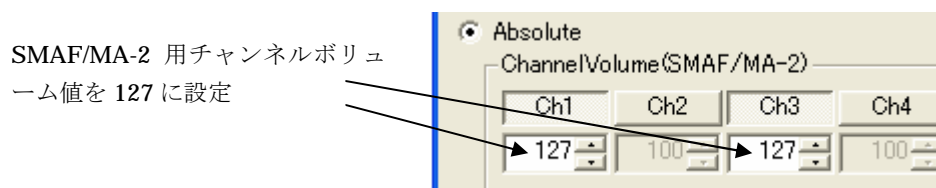
## ■SMAF/MA-2 の場合

**SMAF/MA-2 用チャンネルボリューム値有効/無効切り替えボタン**を押して変更させたいチャンネルのボリューム値の入力を有効にします。

Ch1 と Ch3 を有効にする場合



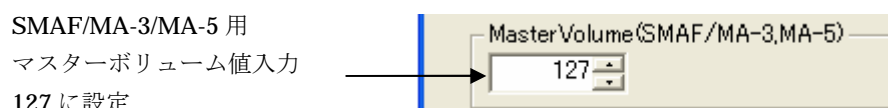
**SMAF/MA-2 用チャンネルボリューム値入力エディットボックス**に値を設定します。  
127 に設定する場合



## ■SMAF/MA-3、MA-5 の場合

**SMAF/MA-3/MA-5 用マスターボリューム値入力**に値を設定します。

127 に設定する場合

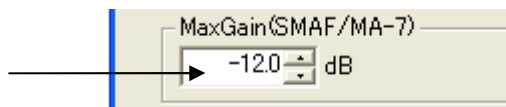


### ■SMAF/MA-7 の場合

SMAF/MA-7 用 MaxGain 値入力に値を設定します。

-12[dB]に設定する場合

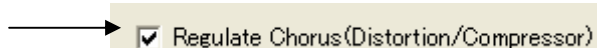
SMAF/MA-7 用  
MaxGain 値入力  
-12dB に設定



Effect(Distortion、Overdrive、Amp Simulator、Compressor)を使用している場合は、Regulate Chorus(Distortion/Compressor)オプションにチェックを入れると全体音量に追従してボリュームを下げる事が可能です。

Regulate Chorus(Distortion/Compressor)を ON に設定

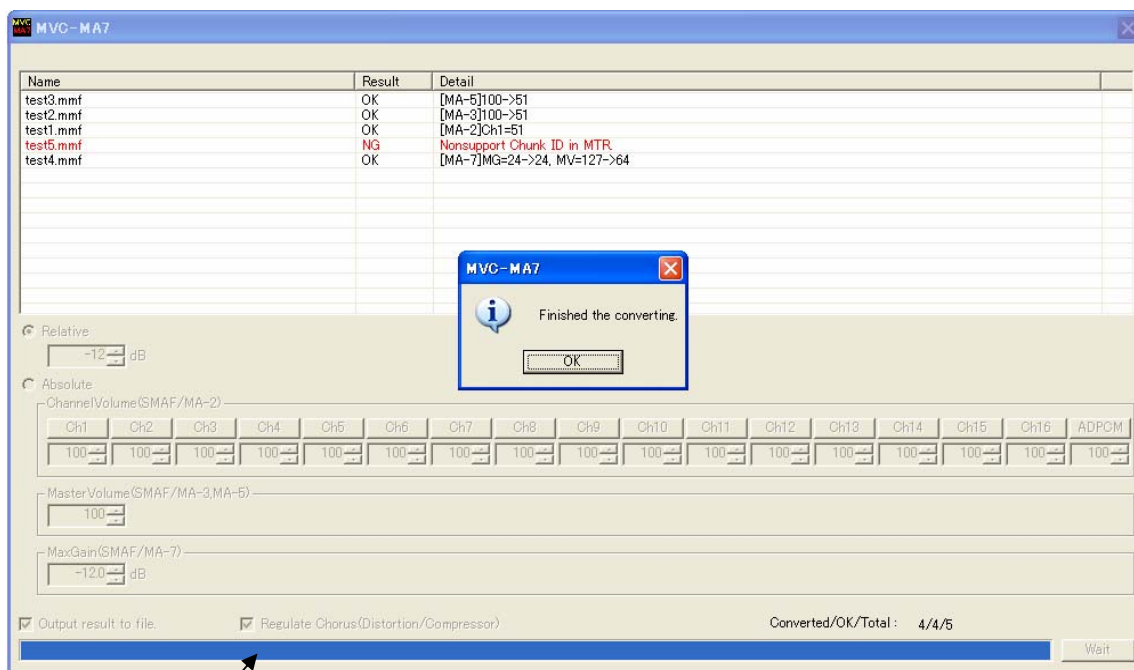
ON に設定



3) MVC-MA7 上に処理するファイル(.mmf)をドラッグ&ドロップします。

一度に複数のファイル进行处理することも可能です。

(プログレスバーに進捗状況が表示されます。)

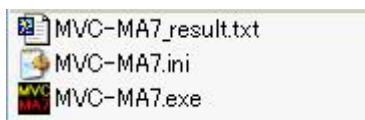


プログレスバー

- 4) ボリューム変換の処理が正常終了した場合、入力した **SMAF** ファイルと同一フォルダに、「**MVC-MA7\_output**」フォルダが作られ、変換後の **SMAF** ファイルが保存されます。既に同名ファイルが存在している場合は、上書き確認ダイアログが表示されます。

名前 ▲	サイズ	種類
MVC-MA7_Output		ファイル フォルダ
test1.mmf	1 KB	MMF ファイル
test2.mmf	2 KB	MMF ファイル
test3.mmf	1 KB	MMF ファイル
test4.mmf	2 KB	MMF ファイル
test5.mmf	1 KB	MMF ファイル

**Output result to file** チェックボックス<4.1.5**Output result to file** チェックボックス参照>にチェックが入っている場合は、「MVC-MA7.exe」と同一フォルダに「MVC-MA7\_result.txt」というファイル名で変換結果をテキスト形式で生成されます。



## 7 処理結果表示

メインダイアログの'Output log file' チェックボックス(4.1.5Output result to file チェックボックス参照)をチェックして処理した場合、「MVC-MA7.exe」と同一ディレクトリの可  
「MVC-MA7\_result.txt」ファイルに処理結果がテキスト形式で書き出されます。  
以下が、「MVC-MA7\_result.txt」ファイルの例です。

test1.mmf	SMAF/MA-2	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:14:30
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume
0.000	1(MTR1)	Relative(-12.0dB)	[99] 51	
test2.mmf	SMAF/MA-3	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:14:30
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume
0.000	MTR5	Relative(-12.0dB)	100 51	
test3.mmf	SMAF/MA-5	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:14:30
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume
0.000	MTR6	Relative(-12.0dB)	100 51	
test4.mmf	SMAF/MA-7	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:14:30
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume
Before Level	After Level			
0.000	MTR7	Relative(-12.0dB)	---	24
0.000	MTR7	Relative(-12.0dB)	127 64	64(R) 32(R)
30.588	MTR7	Relative(-12.0dB)	127 64	127(S) 127(S)
31.060	MTR7	Relative(-12.0dB)	125 62	---
31.528	MTR7	Relative(-12.0dB)	123 62	---
test5.mmf	SMAF/MA-7	Result:NG	Error:Nonsupport Chunk ID in MTR.(-12)	Data:2005/12/12 20:14:30

< 図 7-1 > 「MVC-MA7\_result.txt」ファイル例 1

test1.mmf	SMAF/MA-2	Result:OK	Detail:Not	Converted	-	Not	exist	target	volume.(0)
	Data:2005/12/12 20:08:24								
test2.mmf	SMAF/MA-3	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:08:25					
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume					
0.000	MTR5	Absolute	100	100					
test3.mmf	SMAF/MA-5	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:08:25					
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume					
0.000	MTR6	Absolute	100	100					
test4.mmf	SMAF/MA-7	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/12 20:08:24					
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume	Before Gain	After Gain			
Before Level	After Level								
0.000	MTR7	Absolute	---	24	24				
0.000	MTR7	Absolute	127	127	64(R)	64(R)			
30.588	MTR7	Absolute	127	127	127(S)	127(S)			
31.060	MTR7	Absolute	125	125	---	--			

test5.mmf SMAF/MA-7	Result:NG Error:Nonsupport Chunk ID in MTR.(-12)	Data:2005/12/12 20:08:24
=====		

<図 7-2> 「MVC-MA7\_result.txt」ファイル例 2

以下が「MVC-MA7\_result.txt」の内容説明です。

ログ種類	説明	表示例
<b>Filename</b>	入力ファイル名を表示します。	test1.mmf
<b>SMAF 種類</b>	入力ファイルの SMAF 種類を表示します。 SMAF 種類が判別できない時は、“---”と表示します。	SMAF/MA-2
<b>Result</b>	処理結果を表示します。 OK/NG	Result:OK
<b>Detail/Error</b>	結果の詳細情報を表示します。 詳細情報については<8エラーメッセージ一覧>ご参照ください。 Error/Warning メッセージの後に(コード)を表示します。	Detail:Converted
<b>Date</b>	ファイルを変換した詳細日時を表示します。	Date : 2005/12/12 18:38:49
<b>Point</b>	Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換したボリュームについて、曲先頭(Start Point の考慮は不要)からの時間を sec 単位(小数点以下 3 桁固定)で表示します。 それ以外の場合は当該項目を出力しません。	0.02
<b>Channel/Track</b>	<p>■SMAF/MA-2 の場合 Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換したボリュームが存在する (Delete の場合は存在した)チャンネルのチャンネル番号、及び MTR を表示します。</p> <p>■SMAF/MA-3,MA-5,MA-7 の場合 Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換したボリュームが存在する MTR を表示します。</p> <p>SMAF/MA-7 で、Effect ボリューム調整をおこなった場合 Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換した SendLevel が存在するチャンネルのチャンネル番号、及び MTR を表示します。</p>	SMAF/MA-2 の場合 1(MTR1) その他 MTR7
<b>Action</b>	ボリューム変換処理方法を表示します。 Relative(*dB) 増減値入力(dB 値) Absolute 絶対値入力	Relative(60.0dB)
<b>Before Volume</b>	元のボリューム値を表示します。 SMAF/MA-2 の場合で、元のチャンネルボリューム値が存在せず、新たに追加した場合は以下のように表示します。 <相対値入力(dB 値)の場合>	0~127

	[99] ※デフォルト値[NOTE] <絶対値入力> “---”	
<b>After Volume</b>	変換後のボリューム値を表示します。	0～127
<b>Before Gain</b>	元の MaxGain 値を表示します。 SMAF/MA-7 のみ該当します。	0～24
<b>After Gain</b>	変換後の MaxGain 値を表示します。 SMAF/MA-7 のみ該当します。	0～24
<b>Before Level</b>	元の ChorusSend, Return Level 値を表示する。 (R)が Retrun, (S)が Send を意味する。 Regulate Chorus オプションにチェックが入っていない時は表示しない。	1(R)～127(R) 1(S)～127(S)
<b>Affter Level</b>	変換後の ChorusSend, Return Level 値を表示する。 (R)が Retrun, (S)が Send を意味する。 Regulate Chorus オプションにチェックが入っていない時は表示しない。	1(R)～127(R) 1(S)～127(S)

&lt;表 7&gt; 処理結果内容

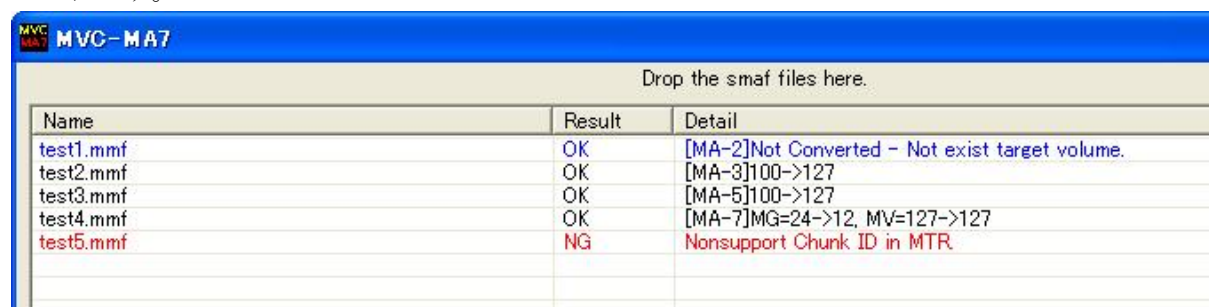
## [NOTE]

MVC-MA7 の増減値(dB)入力で、入力された SMAF/MA-2 にチャンネルボリュームがない場合、チャンネルボリュームのデフォルト値を 99 として 99 に対する増減値でボリューム値を算出します。

## 8 エラーメッセージ一覧

### 8.1 ファイル処理のエラー

変換でエラーになった場合、MVC-MA7 のウィンドウに赤字でエラーメッセージが表示されます。



Name	Result	Detail
test1.mmf	OK	[MA-2]Not Converted - Not exist target volume.
test2.mmf	OK	[MA-3]100->127
test3.mmf	OK	[MA-5]100->127
test4.mmf	OK	[MA-7]MG=24->12, MV=127->127
test5.mmf	NG	Nonsupport Chunk ID in MTR.

＜図 8-1＞エラー表示例

### 8.2 Detail メッセージ

#### 8.2.1 OK の場合

変換結果 コード	メッセージ	説明
0	Converted.	ボリュームを変換しました。
0	Not converted - Not Exist Target Volume	ボリュームを変換しませんでした。 (SMAF/MA-2 の場合) - 絶対値入力モードで、全てのチャンネルのボリューム入力が無効になっていません。

#### 8.2.2 NG の場合

変換結果 コード	メッセージ	説明
-1	Nonsupport Chunk ID.	不明なチャンク ID を見つけました。
-2	Nonsupport File ID.	ファイル ID が MMMD でありません。
-3	File size error.	ファイルサイズエラーです。
-4	Not exist CNTIChunk.	CNTI チャンクが存在しません。
-5	Chunk size error in CNTI.	CNTI のチャンクサイズエラーです。
-6	Chunk size error in OPDA.	CNTI 内のタグサイズが不正です。
-7	Nonsupport Chunk ID in OPDA.	OPDA のチャンクサイズエラーです。
-8	Tag size error in OPDA.	OPDA 中にサポート外のチャンク ID があります。
-9	Chunk size error in Dch.	OPDA 中にサイズエラーのタグがあります。
-10	Chunk size error in Pro.	OPDA の Dch チャンクのチャンクサイズエラーです。
-11	Chunk size error in MTR.	OPDA の Pro チャンクのチャンクサイズエラーです。
-12	Nonsupport Chunk ID in MTR.	MTR のチャンクサイズエラーです。
-13	Chunk size error in MspI.	MTR 中にサポート外のチャンク ID があります。
-14	Chunk size error in Mtsu.	MTR1～7の MtsI チャンクのチャンクサイズエラーです。
-15	Chunk size error in Mtsp.	MTR1～7の Mtsu チャンクのチャンクサイズエラーです。



-16	Chunk size error in Mtsq.	MTR1～7の Mtsq チャンクのチャンクサイズエラーです。
-17	Sequence Data Error in Mtsq	MTR1～7 の Mtsq チャンクのシーケンスデータエラー。
-18	Exclusive Message Size Error in Mtsq	MTR1～7 の Mtsq チャンクのエクスクルーシブメッセージサイズエラー。
-19	Sequence data error in Mtsq.	ATR のチャンクサイズエラーです。
-20	Exclusive message size error in Mtsq.	GTR のチャンクサイズエラーです。
-21	Chunk size error in ATR.	MSTR のチャンクサイズエラーです。
-22	Chunk size error in GTR.	不正な CRC があります。
-23	Chunk size error in MSTR.	.mmf ファイルではありません。
-24	File read error. File write error.	SMAF ファイルの読み書きに失敗しました。
-25	File path is too long.	ファイルパス名が長すぎます。 この場合は処理を中止します。
-27	Illegal ATSig.	SMAF/MA-2 で OPDA が存在してかつ、 CNT1 に ATSig が存在しています。 また SMAF/MA-3,MA-5 で CNT1 に ATSig が存在しています。
-28	Not exist ATSig(A0).	ATSig(A0)が存在しません。
-29	MTR of the different SMAF kind exist.	異なる SMAF 種類の MTR が存在しています。
-30	Can not find MasterVolume.	MasterVolume が最初のノートメッセージの前に存在しません。
-31	Invalid StartPoint/EndPoint in MspI.	MspI 内の StartPoint/EndPoint が不正。
-32	Invalid StartPoint/EndPoint in AspI.	AspI 内の StartPoint/EndPoint が不正。
-33	Tag size error in CNT1.	CNT1 内のタグサイズが不正。
-34	Illegal Exclusive message in Mtsq.	Mtsq 内のエクスクルーシブメッセージが不正。
-35	Chunk size error in Atsq.	Atsq チャンクのチャンクサイズエラー。
-36	Chunk size error in Awa.	Awa チャンクのチャンクサイズエラー。
-37	Sequence data error in Atsq.	Atsq チャンクのシーケンスデータエラー
-38	Sequence data error.	シーケンスデータエラー(汎用)
-39	Chunk size error in AspI.	AspI チャンクサイズエラー
-40	Folder open error.	OUTPUT フォルダオープンに失敗しました
-43	Can not find MaxGain.	MaxGain が存在しません。

## 8.3 メッセージボックス

### 8.3.1 エラーメッセージ

メッセージ	説明
Initial file parameter error.	MVC-MA7.ini が存在しません。 TARGET_FILE の設定が不正です。 初期ファイルは存在しないと起動できません。
Can not output the result to (path name).	結果ファイルへの出力に失敗しました。 結果ファイル名が長すぎる場合、結果ファイルが排他オープンされている場合、結果ファイルを出力するメディアが書き込み禁止の場合が該当。 この場合は処理を中止します。
Folder open error.	Output フォルダ作成に失敗しました。 この場合は処理を中止します。

### 8.3.2 確認メッセージ

メッセージ	説明
(path name) has already exist. Overwrite all? はい/いいえ	SMAF ファイル上書き確認メッセージ。一回だけ表示します。
Finished the converting.	処理が終了しました。 正常／異常に関わらず、このメッセージを表示します。